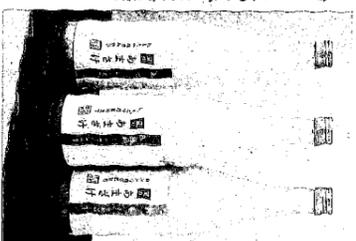


グイノスやまざきとヨシコシ

ワインの輸入販売を手がけるグイノスやまざき(静岡市)と、清涼飲料製造の子会社を持つ不動産業のヨシコシが静岡県内の酒造会社と組む。県産の甘酒ブランドを立ち上げる。純米大吟醸の酒かきを使い、付加価値の高い甘酒として売り出す。消費者の健康志向が高まる中、地元カシを前面にした甘酒で土産物としての需要を狙う。同時に、酒造る静岡の認知度向上を図る。

ブランド名は「蔵のおまざき」。銘柄は県内の有力な酒造メーカー、土井酒造場(掛川市)の「開運」、三和酒造(静岡市)を酒「蔵のおまざき」

3酒造連携、3種投入



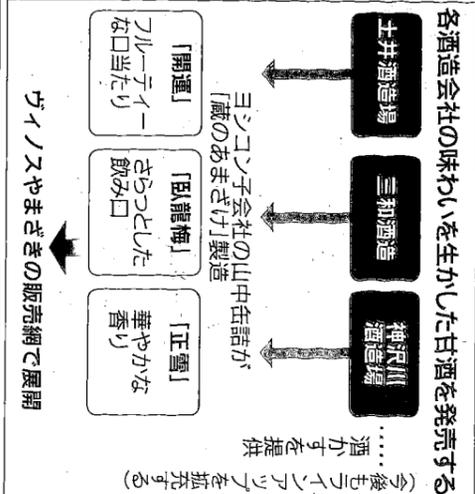
「酒龍梅(がりゅうばい)」「神沢川酒造場(同)」「正曹」の3種を投入する。グイノスやまざきにもよる、1つの甘酒の純一したブランドの下で3つの酒造会社が同時に発売するのは珍しいとい

県産甘酒 統一ブランド

純米大吟醸 酒かす使っ

社化した清涼飲料水製造・販売の山中佐詰(綾井別)。まずは12月28日に3種合わせて限定1万本を発売する。グイノスが1年後になる見通し。各酒造会社が純米大吟醸を醸造する際に発生する酒かすを再利用。それぞれの味をブレンドして希少糖を含んだソフトドリンクに糖を使っことにカカオを抑制えた。

「酒龍梅(がりゅうばい)」「神沢川酒造場(同)」「正曹」の3種を投入する。グイノスやまざきにもよる、1つの甘酒の純一したブランドの下で3つの酒造会社が同時に発売するのは珍しいとい



県内の酒造会社に広がる。今後の展開も弾として、18年春にも第2弾として、純米大吟醸を醸造する。その状況に基づき、将来的な売上高の目標を設定している。甘酒は「飲む点滴」として健康志向の高まりを受けて市場を拡大している。

「開運」ブルーチンアイーナ口当たり
「酒龍梅」さらっとした飲み口
「正曹」華やかな香り

グイノスやまざきの販売網で展開

社化した清涼飲料水製造・販売の山中佐詰(綾井別)。まずは12月28日に3種合わせて限定1万本を発売する。グイノスが1年後になる見通し。各酒造会社が純米大吟醸を醸造する際に発生する酒かすを再利用。それぞれの味をブレンドして希少糖を含んだソフトドリンクに糖を使っことにカカオを抑制えた。

「酒龍梅(がりゅうばい)」「神沢川酒造場(同)」「正曹」の3種を投入する。グイノスやまざきにもよる、1つの甘酒の純一したブランドの下で3つの酒造会社が同時に発売するのは珍しいとい

市場規模は2015年には12億円だったが、17年には10億円に伸びる。消費者の健康志向の高まりを受けて市場を拡大している。

「開運」ブルーチンアイーナ口当たり
「酒龍梅」さらっとした飲み口
「正曹」華やかな香り

グイノスやまざきの販売網で展開